

## 日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン」を実施

独立行政法人科学技術振興機構の平成 26 年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）の支援を受け、工学部では、10 月 6 日から 12 日の日程で上海電力学院の大学関係者（5 名：教員 1 名、大学院生 4 名）を招へいしました。

本事業は、前半は大分、後半は東京及び千葉にて実施しました。

まず、大分では工学部の研究室や地場企業の見学、そのほか上海電力学院学生による研究発表などの学生交流等を、東京及び千葉では、コラボ産学官（東京都江戸川区）にて、本学工学研究科博士後期課程を 2011 年 3 月に修了し、現在、TDK(株)に研究員として勤務している林 旻氏による「大分大学、日本の企業及び大学との共同研究の経験談」の講演を聞き、その林 旻 氏の案内で、9～11 日にかけて幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催された「CEATEC JAPAN(シーテック ジャパン)2014(※)」に大分大学関係者とともに参加しました。

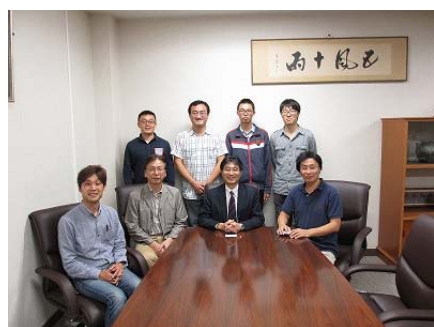
※CEATEC JAPAN(シーテック ジャパン)とは、アジア最大級の規模を誇る映像・情報・通信の国際展示会。毎年 10 月に幕張メッセで開催される。国内および海外を代表する IT&エレクトロニクスの関連企業および団体が参加。

今回、上海電力学院の大学院生を引率した趙 晋斌 教授は、本学大学院工学研究科博士後期課程を修了された方で、久しぶりの母校の訪問に感慨もひとしおのようでした。また、来日した学生達も今回が初めての外国訪問で、学生交流や施設見学などを通じ、大いに刺激を受けたようです。

これを契機に上海電力学院と大分大学との関係が深まることを期待します。

### 【さくらサイエンスプランとは】

この事業は、産学官の緊密な連携により、優秀なアジアの青少年が日本を短期に訪問し、未来を担うアジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目指し、アジアの青少年が日本の最先端の科学技術への関心を高め、もって日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の育成に貢献することを目的としたものです。



大分大学関係者との記念撮影



研究室見学(益子教授)



上海電力学院学生による研究発表



企業見学 (株デンケン)



林 旻 氏による講演



CEATEC JAPAN2014にて